

# 営農技術情報

一畑作（春まき小麦③）

令和2年 6月 4日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 Tel.01654-2-4524  
JA道北なよろ Tel.01655-3-2521  
JA道北なよろ営農センターTel.01654-3-4307

## ～今後の栽培管理について～

### 1 生育経過

5月中旬の低温により生育は鈍化し、現在は平年並に進んでいます。草丈は短いですが、茎数が多い状況です。

＜生育状況(6月1日現在)＞

	出芽期	幼穂形成期	止葉期	出穂始	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )
<b>本年</b>	<b>5/ 3</b>	<b>5/29</b>			<b>26.0</b>	<b>5.3</b>	<b>1,232</b>
平年	5/ 9	5/30	6/13	6/20	30.4	-	817
遅速	早6日	早1日			-4.4	-	+415

### 2 追肥と倒伏軽減対策

止葉期以降の追肥は、「遅れ穂」の発生を助長します。追肥する場合は6月上旬までに実施し、倒伏軽減対策として植物成長調整剤を使用しましょう。

#### 【植物成長調整剤の使用法】

資材名	使用時期	10a 使用量	10a 散布水量	回数
サイコセルPRO	6 葉期前後（草丈 30～40cm）	150ml	100 リットル	1 回
エスレル10	止葉期～出穂始期	200～333ml	100 リットル	1 回
	出穂始期	100～333ml		

### 3 病虫害防除

#### (1) ムギキモグリバエ

は種の遅いほ場ほど加害期間が長くなります。5月上旬は種のは場では、6 葉期頃までに防除を実施しましょう。

#### 【防除薬剤例】

薬剤名	使用倍率	使用基準	
		時期	回数
スミチオン乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	1回以内
エルサン乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	4回以内

#### (2) 赤さび病・うどんこ病の防除(防除時期:止葉抽出期～穂ばらみ期)

赤さび病の防除開始（6月中旬）まではまだ期間がありますので、まん延防止のため、発生が見られるほ場では防除を行いましょう。

#### 【赤さび病・うどんこ病の防除農薬例】

薬剤名	使用倍率	使用基準	
		時期	回数
チルト乳剤25	2000倍	収穫3日前まで	3回以内

◎ 農薬は使用基準を守り、農薬飛散に注意しましょう ◎